

みんなの社プリ～教科書太字の確認～ No.12

中世の日本 東アジア世界との関わりと社会の変動

<応仁の乱と戦国大名>

- (1) 室町幕府の将軍のあとつぎ争いと、有力守護大名の細川氏と山名氏の対立から始まった、11年間におよぶ戦い。
- (2) 応仁の乱のきっかけとなった第8代将軍。
- (3) 山城（京都府）南部で、武士や農民が守護大名を追い出して、その後、約8年間自治を行った一揆。
- (4) 加賀（石川県）で、浄土真宗〔一向宗〕の信徒が守護大名をたおして、その後、約100年間自治を行った一揆。
- (5) 下の身分の者が実力で上の身分の者をたおし、その地位をうばう風潮。
- (6) 下剋上の風潮の中で、全国各地に新しく登場した大名。
- (7) 室町時代後半の、約100年間におよぶ戦乱の時代。
- (8) 戦国大名が、城の周りに家来や商工業者を集めて造った町。
- (9) 戦国大名が領国支配のために独自に定めた法律。
- (10) 右の法律を作ったり、金山を開発したりして、甲斐（山梨県）を支配した戦国大名。
- (11) 産出された大量の銀が当時の世界経済に大きな影響をあたえた、現在の島根県にある鉱山。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	

<室町文化とその広がり>

- (1) 和歌の上の句と下の句を、別の人がよみつないでいく文芸。
- (2) 田楽や猿楽から発展した芸能。
- (3) 室町幕府の保護の下、能を大成した親子。
- (4) 足利義満が京都の北山の別荘に建てた、右上の絵の建築物。
- (5) 貴族の文化と武士の文化が融合された、足利義満の時代の文化。
- (6) 床の間を設け、障子やふすまで部屋をしきった、現代の和室につながる、建築様式。
- (7) 禅宗の僧を中心にえがかれた、墨一色で自然などを表現する絵画。
- (8) 明で絵画の技法を学び、日本独自の水墨画を完成させた人物。
- (9) 足利義政が京都の東山の別荘に建てた、右の絵の建築物。
- (10) 簡素で気品がある、足利義政の時代の文化。
- (11) 能の合間に演じられる、こっけいな劇。
- (12) 民衆に喜ばれた、「一寸法師」などの絵入りの物語。
- (13) 現在の栃木県にあった、儒学を学ぶための教育機関。



(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	